

■出題傾向

小学校や中学校で繰り返し学習してきた、話すこと、聞くこと、書くこと、読むことの分野のうち、書くこと、読むことの分野について、高等学校で学習するための基本的な力が身に付いているかどうかを確認するための出題をします。

●出題する文章は現代文と古文

[現代文関係]

- ・漢字の読み書きの問題
- ・口語文法の知識を確かめる問題
- ・対義語、熟語、慣用句、ことわざなどの言語事項一般に関する問題
- ・文章の展開に従って正確に読み取ることが出来るかどうかを確かめる問題
- ・文章の要点をまとめる問題
- ・指示語、接続語などに関する問題
- ・一般常識を確かめる問題
- ・自らの意見や経験を伝える表現力を確かめる問題（小作文）

[古文関係]

- ・歴史的仮名遣いなどの古文を学習する上での基礎事項の問題
- ・指示語などに関する問題
- ・言い換えの表現を指摘する問題
- ・省略されている主語や内容を指摘する問題
- ・登場人物の心情を本文やあらすじを手がかりに把握する問題
- ・文学史の知識を確かめる問題

■解答分析

- ・正確な基礎知識が身につけていない傾向が見られます。漢字、語彙、文法の知識を深めておくことが望まれます。
- ・記述問題等で他者に伝わる文章表現ができていない傾向が見受けられます。日頃から特に文末表現に気をつけてあいまいさをなくすような記述解答の練習が必要です。

■学習アドバイス

多くのジャンルの文章に接し、一定の時間内で文章を読むことに慣れることが大切です。特に評論は、読んだ後で筆者の言いたいことを一度自分でまとめてみましょう。そのために教科書以外の文章でも要約に挑戦することが有効です。

古文（物語文）では、説話文学や物語作品に多く触れ、人物や場面の設定等文章全体の内容を把握できるようにしておくことが必要です。注にある語の解説を手がかりにして、全体のあらすじを読み取る練習をすることが大切です。